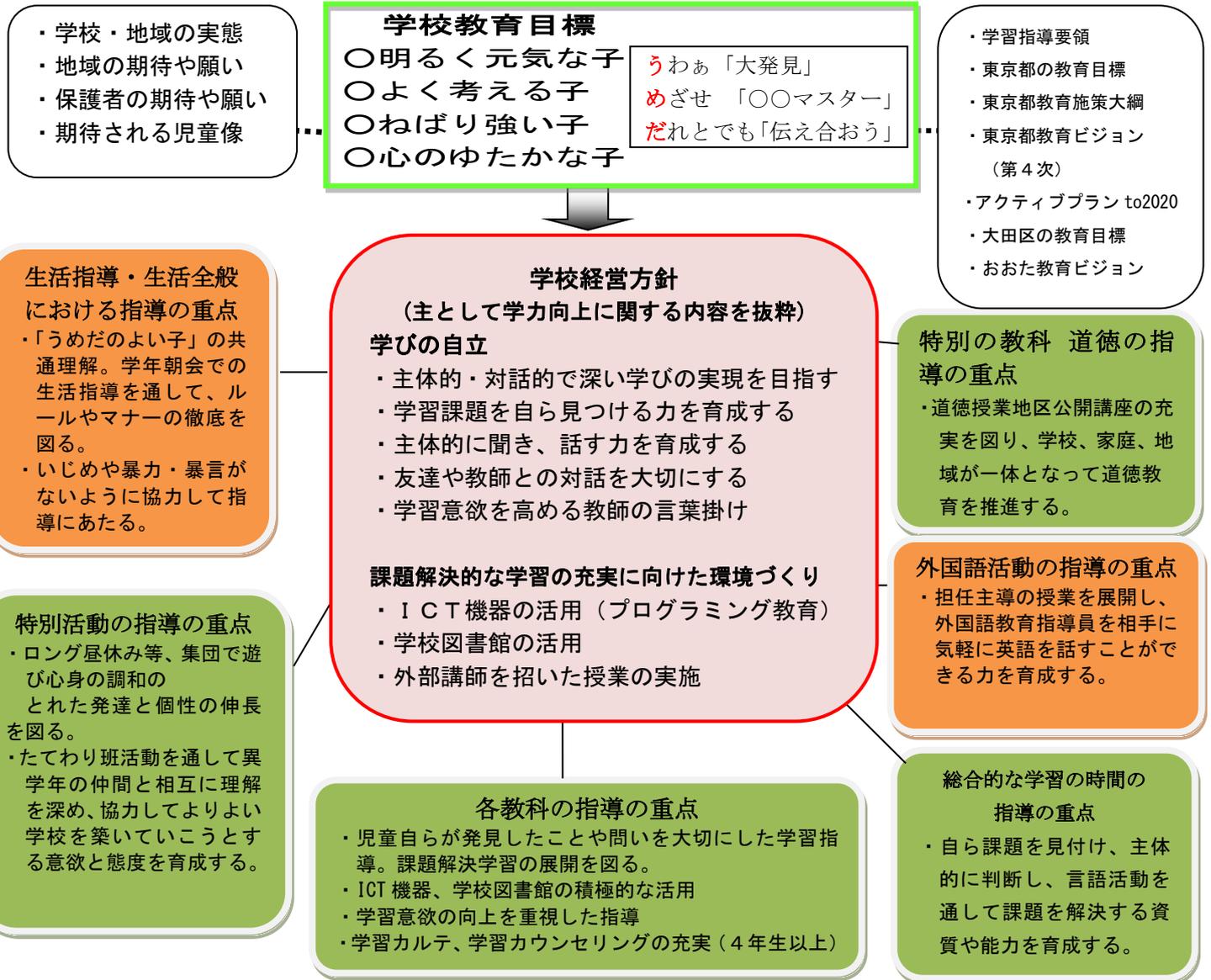


令和元年度 学力向上を図るための全体計画

大田区立梅田小学校



梅田小学校の授業改善に向けた視点

指導方法や内容の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価の工夫	家庭や地域社会の連携と工夫
<ul style="list-style-type: none"> ○算数のステップ学習や習熟度別少人数学習指導（3年生以上）を行い、個に応じた指導の充実を図る。 ○主体的・対話的で深い学びに向けて、児童の「日常の発見」「問い」教師の「称賛」「問い返し」を大切にする。 ○読書活動や言語活動の充実を図る。 ○理科支援員の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝（火、木）、水曜、土曜補習（3年以上）を活用し、算数、理科の基礎的基本的な理解の定着を図る。 ○2学期末の保護者会で各学年の授業改善点と成果や課題を説明して、保護者の理解と協力を得る。 ○読書学習司書と担任との連携により各教科指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間7回の授業研究の実施、実技研修会の充実。区や都の研究との連携 ○校内研修会の充実（一人一人が運動を楽しみ、主体的に課題解決を目指す体育学習） ○組織的なOJTの実施を図り教科指導・生活指導の充実を目指す。 ○ICT機器、プログラミング教育に関する研修の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○学力の定着を図れるよう、学習計画時に学習のねらいや留意点を明確化し、指導と評価の一体化を図る。 ○発達段階や学習活動に応じた振り返り（自己評価）の充実。 ○体育ノート等のスタディログ（学びの履歴）を大切に、指導と評価の一体化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者による読み聞かせやスクールサポートうめだとの連携を図り、体験的な学習や活動の充実を図る。 ○家庭と連携を図り「早寝早起き朝ごはん」推進月間（5月10月）の充実を目指す。朝ストレッチや啓発カードを行い、意欲的に学習に取り組む基盤をつくる。